



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月12日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 大
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp
 代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）清水三夫
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役兼執行役員（氏名）吉岡利行 (TEL)06(6338)8331
 総務本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績（平成24年3月1日～平成24年5月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	3,073	2.3	133	21.3	140	23.0	70	30.8
24年2月期第1四半期	3,005	2.5	109	72.6	114	56.6	53	72.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	3 84	—
24年2月期第1四半期	2 94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	7,712	3,466	45.0
24年2月期	7,657	3,396	44.4

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 3,466百万円 24年2月期 3,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0 00	—	0 00	0 00
25年2月期	—				
25年2月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,204	2.0	212	△4.9	222	△6.0	78	△56.7	4 27
通期	12,250	3.3	289	△12.3	300	△15.7	139	△29.1	7 60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期1Q	18,302,000株	24年2月期	18,302,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	1,667株	24年2月期	1,667株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期1Q	18,300,333株	24年2月期1Q	18,300,333株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞から緩やかな持ち直しが見られたものの、深刻化している欧州債務危機問題や、不安定な為替相場等、継続的な景気の先行き不透明感の中で推移しました。

外食産業におきましても、世帯1人あたりの外食支出額や法人交際費等の減少傾向により、市場規模が縮小し厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のあるまぐろ漬けごはんと牛バラ焼等の鉄板焼きの販売、「街かど屋」ではカレーかつ定食やデミかつ定食等の各種とんかつ定食を鉄皿でのご提供、「讃岐製麺」では気温の上がる4月から、梅のネバとろぶっかけうどん等を販売し涼麺フェアを実施しました。

当第1四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が1店舗、閉店が1店舗となった結果、店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は3,073,466千円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で133,049千円(前年同四半期比21.3%増)、経常利益は140,532千円(前年同四半期比23.0%増)、四半期純利益は70,276千円(前年同四半期比30.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,169,597千円(前事業年度末は4,022,674千円)となりました。新規出店数が予定を下回ったことや、既存店売上高の回復によるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減価償却が進んだことで1,971,744千円(前事業年度末は2,016,670千円)、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,524,544千円(前事業年度末は1,570,830千円)となり、資産の部合計は、7,712,077千円(前事業年度末は7,657,804千円)となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等により、2,109,935千円(前事業年度末は1,984,523千円)となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の減少等により2,135,287千円(前事業年度末は2,276,703千円)となり、負債の部合計は4,245,223千円(前事業年度末は4,261,227千円)となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,466,853千円(前事業年度末は3,396,577千円)となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は45.0%(前事業年度末は44.4%)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

「街かど屋」「めしや食堂」「讃岐製麺」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店10店舗、閉店3店舗で当期末店舗数は127店舗を予定しております。

当期の見通しとしましては、売上高は12,250,694千円(前年同期比3.3%増)、営業利益は289,064千円(前年同期比12.3%減)、経常利益は300,982千円(前年同期比15.7%減)、当期純利益は139,064千円(前年同期比29.1%減)を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,612,456	3,728,801
売掛金	8,564	10,128
商品	3,972	1,914
原材料及び貯蔵品	51,946	52,969
繰延税金資産	92,285	118,115
その他	253,450	257,668
流動資産合計	4,022,674	4,169,597
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,754,590	1,731,047
その他	262,080	240,697
有形固定資産合計	2,016,670	1,971,744
無形固定資産		
47,628		46,190
投資その他の資産		
差入保証金	1,236,665	1,205,045
繰延税金資産	193,978	183,871
その他	140,697	136,137
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,570,830	1,524,544
固定資産合計	3,635,130	3,542,479
資産合計	7,657,804	7,712,077
負債の部		
流動負債		
買掛金	303,299	335,167
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	681,267	681,271
未払法人税等	67,463	89,137
賞与引当金	107,151	160,683
その他	785,340	803,675
流動負債合計	1,984,523	2,109,935
固定負債		
社債	110,000	100,000
長期借入金	1,277,372	1,157,054
長期預り保証金	151,800	146,627
退職給付引当金	261,669	265,347
その他の引当金	69,402	70,522
その他	406,458	395,736
固定負債合計	2,276,703	2,135,287
負債合計	4,261,227	4,245,223

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	20,906	91,183
自己株式	△382	△382
株主資本合計	3,396,577	3,466,853
純資産合計	3,396,577	3,466,853
負債純資産合計	7,657,804	7,712,077

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	3,005,302	3,073,466
売上原価	892,914	925,646
売上総利益	2,112,388	2,147,820
販売費及び一般管理費	2,002,699	2,014,770
営業利益	109,688	133,049
営業外収益		
受取利息	1,611	1,903
受取家賃	66,112	59,436
その他	13,066	11,971
営業外収益合計	80,791	73,311
営業外費用		
支払利息	11,601	8,866
賃貸収入原価	62,165	56,206
その他	2,466	756
営業外費用合計	76,234	65,828
経常利益	114,245	140,532
特別利益		
過年度損益修正益	2,739	—
特別利益合計	2,739	—
特別損失		
有形固定資産除却損	12,015	1,056
減損損失	—	4,884
店舗閉鎖損失	5,027	86
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,724	—
特別損失合計	75,766	6,026
税引前四半期純利益	41,217	134,505
法人税等	△12,526	64,229
四半期純利益	53,743	70,276

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。